

令和3年度 第7回 北杜市総合計画審議会

《会議録》

- 1 日 時 令和4年2月9日(水) 10:30~12:15
- 2 場 所 北杜市役所 北館3階 大会議室
- 3 出席者 【会長】藤原真史
【副会長】矢野 望 北原正倫
【委員】村田 茂 清水 精 小池雅美 内藤和心 日野水丈士 堀内敏光
小林喜文 安達義通 浅川英三 功刀孝次郎 佐野 極 矢崎憲恒
飯田直也 中澤尚志 飛矢崎雅也(敬称略)
【市役所】市長 上村英司
副市長 小林 明
教育長 輿水清司
政策秘書部長 宮川勇人 企画部長 中田治仁
総務部長 中山晃彦 健幸市民部長 八巻弥生
福祉部長 伴野法子 森林環境部長 大芝 一
産業観光部長 輿水伸二 建設部長 大輪 弘
教育部長 加藤 寿 上下水道局長 浅川和也
財政課長 進藤修一 人事課長 小澤哲彦
【事務局】政策推進課長 浅川 豪
政策推進課 計画推進担当 向井幹裕 篠原 亮 有賀 翼
【委託業者】特定非営利活動法人SCOP 鷺見真一 木亦千尋
- 4 欠席委員 小川昭二委員 花谷泰広委員 小池啓一委員 井上能孝委員
渡邊雅人委員 下田実奈委員
- 5 会議録署名 小林喜文委員 内藤和心委員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍 聴 27人
- 8 会議内容 1) 開会
2) 挨拶
3) 議題
①第3次北杜市総合計画(基本構想・前期基本計画)の答申案について
②その他
4) その他
5) 閉会

9 会議経過

1) 開会

2) 挨拶

(会長挨拶要旨)

- 委員の皆様においては、急な日程変更に関わらず、集まっていただき、感謝申し上げます。市長をはじめ、職員の皆様においては、公務多忙な中、ご参集いただいたことを御礼申し上げます。
- また、多くの市民の皆様が傍聴にお越しいただいた。入室等の待機や手続き等についてもご理解をいただき感謝申し上げます。
- 初回の会議から7か月が経過した。本日は、答申案の最終確認をしていただく。本来であれば、これまで以上に時間をかけて審議をいただきたいところであるが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、会議時間を制限させていただいての開催とさせていただき、1時間半と限られている。
- 発言時間の制限などもあるなかではあるが、少しでも多くの委員の方々の発言の機会を設け、審議会の総意として答申案を取りまとめたいたいと考えている。

(市長挨拶要旨)

- 第3次総合計画の策定については、昨年7月の諮問から6回にわたる審議の中で、委員の皆様方の専門のご知見をいただきながら検討いただき、この度、答申案が取りまとめられる段階に至った。改めて感謝を申し上げます。
- 本計画は、昨年12月に素案を取りまとめ、その後、本年1月14日までの1箇月間、パブリックコメントを実施し、多くのご意見をいただいた。
- 本市が有する豊かな自然環境を守りながら、子育てや教育施策の一層の充実と、地域産業の活性化を進めてほしいといったご意見を多くいただき、答申案にも反映したところである。
- コロナ禍を機に、地方の魅力が再認識され、2021年における山梨県全体の人口移動は、テレワークなど新しい働き方の広がりとともに、調査開始以来、初の転入超過となった。このチャンスを生かし、本市のプレゼンスを高めていく取組が益々重要であると考えている。
- この総合計画で目指す10年後のありたい姿は、子どもから高齢者まで、誰もが豊かさと幸せを実感でき、「子育てするなら北杜」と想起される地域ブランドが確立された、子どもが賑わうまちである。この将来像の実現に向けて、第3次総合計画を基に、市職員をはじめ、市民、企業などが「北杜は一つ」との想いで一丸となり、実現に向けて努力していく。
- 今後については、答申をいただいた後、基本構想について、市議会定例会に議案として提出し、ご議決いただいた後、年度内に策定を行う。本日が最後となるが、委員の皆様には、忌憚のないご意見をお願いしたい。

3) 議事

■議事録署名委員の指名の後の委員からの質疑や意見等については、次のとおり。

(発言者)	(発言内容)
委員	<p>会議録について話があったが、この度1月14日まで、パブリックコメントがあり、市民の関心が高い中で、色々な意見が私のもとに届いた。その中で会議録を読んでパブリックコメントを書きたいが、要旨しかないと問合せがあった。委員の元には詳細なものが届いていたが、昨日ホームページを確認した時点で1～4回までは要旨であり、5～6回は詳細な会議録が掲載されていた。</p> <p>要旨は委員の意見のみが羅列されており、事務局の回答が掲載されておらず、どのような議論が行われていたのか、その形跡がわからない。</p> <p>民主主義の観点から、最上位計画である総合計画がどのような過程を経て、つくられたのかを検証できるようにすることが重要である。市民が誰でもアクセスできるようにする必要がある。1～4回までの詳細な会議録を至急、公開していただきたい。</p>
事務局	<p>本審議会は、委員の意見や提案を聴取し、計画に積極的に反映していくことを主目的としており、議事要旨については、その趣旨を踏まえて各委員からの意見を中心に要旨としてまとめている。一方、委員ご指摘のようなご意見もあったことから、5回、6回の会議録については、事務局とのやりとりがわかるものを掲載している。また、現在、1～4回の会議録についても同様のものに差し替える準備を進めており、出来次第、掲載する予定である。</p>
委員	<p>出来次第とは、いつか。</p>
事務局	<p>明日、明後日には公開できる見込みである。</p>

■事務局から資料2、3について説明。委員からの質疑や意見等については、次のとおり。

(発言者)	(発言内容)
委員	<p>資料1と資料5に関わって発言していきたい。</p> <p>本日の審議会は、最終回ということで重要な回である。6日に資料が送られてきたが、そこに大事な答申案が入っておらず、本日の配布となった。これでは答申案について、ご意見をいただきたいといわれても、本日はじめて見て検討し、意見を出すことができない。</p> <p>さらに重要な審議会が1時間半となっている。会議時間は、当初は2時間であったが、それでも足りず、2時間半となった経過もある。1時間も少ない時</p>

間で終わるというのは不十分である。審議がつくされないまま、答申案が出てしまうことは問題ではないか。積極的に討議を重ね、慎重に審議をしてきたという言葉が裏切ってしまうのではないか。

さらに答申案は、2月18日の市議会全員協議会で説明した後、2月22日の議会初日に議決にかけられると聞いている。北杜市の上位計画を議会で審議する時間もないと聞いている。本日の意見を踏まえ、修正し、たった9日間で市議会に示すのも乱暴である。

未消化のまま市議会に出すことは審議会の意見を軽んじている。市民主役のまちづくりを目指し、市民と行政が未来を共有できる計画を市民のみなさんと一緒につくるとのことであったが、市民に共有されにくい総合計画になってしまうのではないか。

事務局 今回の審議会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から時間短縮での開催となっておりご理解をいただきたい。限られた時間であり、この場でご意見をもらうのは難しいこともあるため、不足する部分については明日までにメール等をいただけたらと思う。

委員 今日、明日のメールを受け付けるとなると、2月18日の全員協議会までの時間がますます短縮されていくのではないか。議決にもっていくのは乱暴であると思う。

委員 審議会では、当初示されたスケジュールに沿って半年以上かけて議論してきており、本日提出されている資料は、今までと全く違う案が出てきているわけではない。これまでの議論を踏まえ、ストラクチャーを固めてきている。大きなボリュームのものを限られた期間の中で、立場の違う人たちが集まり、調整をしてきた。日数はあったら良いが、きりが無い。色々な方の意見を踏まえ作っており、スピード感を持ってつくっていかないといけない。予定どおり議論を尽くしていくべきである。

議長 議会の議決事項は、前半の基本構想部分である。意見を出し切れ無いという懸念もあるが、後半の基本計画はまだ意見等を反映する余地があると理解している。

委員 半年はあまりに短すぎる。他の自治体をみると笛吹市は2年かけて、総合計画を策定している。議決事項は基本構想部分とのことだが、本来であれば基本計画も議決されるべきであり、基本構想だけで判断できるはずはない。基本計画や新・行政改革大綱も含めて吟味することで、初めて責任のある議決が可能となる。なぜ、急いで議決する必要があるのか理由があれば伺いたい。

事務局	<p>本計画については、昨年の7月からご審議をいただく中で、本日に至っている。市議会においても、前年度の計画策定の準備段階から全員協議会等で説明し、答弁も行っている。その中で拙速だというご意見もいただいたが、上村市長のまちづくりの思い・基本的な方針をいち早く、市民の皆様と共有し、共通な思いを持って取り組みを進めていきたいことからこのスケジュールを設定している。</p>
委員	<p>共有すると説明があったが、そのためには市民が納得する必要がある、正当性が生まれることが大事だと思う。私は市長の意見を尊重したいし、北杜市が良くなってほしいと思う。市民が自身の計画だと心底思えるものであるべきで、そのためにしっかり時間をとり、みんなで共有し、市民と行政が未来を共有できる計画を市民と一緒に築き上げる必要がある。少し慎重に考えてほしい。</p>
事務局	<p>この審議会でのご意見をはじめ、市民アンケート、企業・団体へのヒアリング、若い世代の声、他の会議、パブリックコメントでのご意見等、これまで以上に市民と共有できる計画策定に取り組んでおり、本日に至っている。コロナ禍で、対面の時間が少なかったことはあるが、私どもとしてはこの状況下のなかで出来る限りの工夫と努力をして本日を迎えており、審議が不足しているとは考えていない。ご理解をいただきたい。</p>
委員	<p>共有は知っていればいいことで、一致を強要することではない。市民の中に反対意見がたくさんあることは普通である。一致は徐々にやっていくことで、まず共有し、知ってもらい、市民一人ひとりが意見を持つことが重要である。</p>
議長	<p>審議会はこの日程で進めることで了承を得ている。他の委員の皆様から、本日、答申案を確定することについて異論はあるか。</p> <p>(特に意見なし)</p> <p>特にご発言がないため、審議会としては委員の総意ということで本日の議事にそって答申案の取りまとめを進める。何かご意見があれば伺いたい。</p>
委員	<p>資料4の指標は、見直してあり良くなっている。数値目標を設定しているが、数値ばかりに目がいくと、目的を見失ってしまうことがあり、3点ほど指摘したい。</p> <p>【LP4-2】No. 15の「ふるさと納税寄附件数」「ふるさと納税寄附額」であるが、目的を、ファンを増やすための広報宣伝と位置付けるか、財源の確保とす</p>

るかで変わってくる。ふるさと納税は手数料、返礼品など、諸々考えると実質的に財源の確保にはなり得ないのではないか。もし財源の確保としての位置付けであるのであれば、件数・金額だけではなく、手数料など費用を差し引いて残った金額も含めてはどうか。

2 ページ目【3-2-2】No. 42の「市立図書館の新規利用登録者数」であるが、カードの発行枚数が数値目標となっている。今後、人口が減っていく中で、カードの発行枚数を増やすことは厳しいのではないか。目的から考えると枚数だけではなく、一人当たりの貸出冊数や回数を指標としても良いと思う。

3 ページ目【4-1-2】No. 47の「新規就農者数」は、新規数のみになっているが新規就農しても辞めてしまう人もいる。そのため、順応数、従事者数、売上額、耕作面積などを指標としても良いのではないか。

事務局

ふるさと納税寄附額の50%は一般財源として活用している。

委員

今回、新・行政改革大綱とそのパブリックコメントの結果が配布されていない。今回のプランの目玉の1つに、総合計画と新・行政改革大綱を一体化したことが挙げられるが、パッケージ化するといいいながら、なぜ新・行政改革大綱やそのパブリックコメントの結果が配られないのか。私が、審議が足りないと言っているのはこの所がポイントである。市民主役のまちづくりは地域民主主義、新・行政改革大綱は法律性の論理に基づいており、これらの計画は異質である。異質なものをパッケージ化するためには慎重な審議が必要である。実際に私の主張を裏付けるように、パブリックコメントにも、新・行政改革大綱と総合計画の関係に関する疑問について、私が確認するだけで4件は意見が寄せられていた。これについて考えを伺いたい。

事務局

「総合計画」と「行政改革大綱」は、それぞれ独立した別の計画であるが、本市が「子どもで賑わうまち」「子育てするなら北杜」を目指し、人口減少・高齢化が進行しているなかで、施策を大きく展開していくためには、しっかりと財源、市の組織体制など強固な行政基盤をつくっていかねばならない。そのため、「総合計画」と「行政改革大綱」の2つの計画を同時に達成することが重要であり、「総合計画」と「行政改革大綱」をパッケージ化することで、統制力と実効性を高め、「成果」と「市民満足度の向上」に重点を置いた効果的な施策展開を図っていくことをねらいとしている。

「総合計画」と「行政改革大綱」は、それぞれ独立した計画であり、当審議会では「総合計画」、行政改革推進委員会で「新・行政改革大綱」についてご審議いただいている。

委員	別の計画という発言があったが、パッケージ化とは関係のあるいくつかのものを一つにまとめることである。今のお考えを聞くと、パッケージよりもドッキングという言葉の方が正確ではないか。
事務局	それぞれのものを一つ並びとして表現するために、パッケージ化という言葉を使っている。
議長	本審議会は総合計画に関して審議し、新・行政改革大綱は行政改革推進委員会の所管事項であるとのことである。
委員	以前、リーディングプロジェクトの「未来を創る戦略」「未来に備える戦略」について、「戦略」という言葉を使うことに異議を唱えた。「戦略」という言葉の使用について、もう一度検討していただきたい。
議長	審議会終了後の意見を踏まえ、事務局と会長とで検討し、最終的な答申案を取りまとめる。
委員	了承

■事務局から資料4について説明。委員からの質疑や意見等については、次のとおり。

(発言者)

(発言内容)

委員	これまで観光に関しては、市民の皆さんに本市の魅力を感じてもらいたい、再認識してもらいたいということでシビックプライドの向上に取り組んでほしいという話をしてきた。シビックプライドについて、計画の随所に入っており、57ページにも織り込んでいただいた。今後は、これまで以上に市民と一緒に市の魅力を発信できるまちになることを願っている。
委員	ほくと子ども育成戦略会議で議論されてきたことが、【LP1】や部門別計画の【1 子育て・教育・若者】などに盛り込まれており、大変満足している。
委員	計画には、子どもの笑顔が自分の笑顔になるまちづくりや子どもの数を10年で2倍にするための施策も多く入っており、内容が盛りだくさんである。赤ちゃんから高齢者までライフステージに応じたまちづくり、特に妊娠から育児まで様々な部分で切れ目のない取組を大切にしている計画だと感じた。多くの市民の方に届く計画になればと願っている。
委員	審議会の中で10年先にどんなまちになるのか、国の動向や社会の流れを踏まえ、こんなことに早く取り組んでいけば豊かになるのではないかと想像し、考

えながら発言してきた。今後、進展していく高齢化のなかでも、本計画を基に、生じる課題に対し、市民と協力し合うなかで、一つひとつ対応していければいいのではないかと。

委員 移住者の視点から意見をしてくる。時間をかけてつくってきた計画である。計画策定のみではなく実行までみていきたい。今後の取組が重要だと思う。

委員 地域商工者の立場として参加した。一寸先は闇である時代の中で、答えを探しながら目標を立てることは大変なことだと感じた。

しかし、悲観ばかりしてられない。地域や地域産業が今後、自立していかなければいけないので、皆で前向きに取り組んでいけたらと思う。

委員 今回の総合計画で住民自治を力強く推進する、市民参加のまちづくりになることを願って発言してきたが、十分な審議が尽くせたと考えていない。

しかしながら、重要なのは、これから実施していく取組をどのように評価・検証していくかである。82ページに評価・検証の体制について記載があるが、評価・検証組織が庁内なのか外部なのかなど、どのように置かれるのか確認させていただきたい。

委員 パブリックコメントなどの貴重な意見を参考にしながら、策定したと考えている。今後、計画を実施していく中で社会情勢も変わっていくと思うが、計画が進むよう職員の皆さんには努力をお願いしたい。また、委員の皆さんと有意義な議論ができたことに感謝申し上げる。

委員 パブリックコメントの中に、北杜市の計画は他の市と同じような計画であるという意見があった。恐らく総合計画は似たようなものになってしまうのは仕方のないことだと思う。大事なことは策定した計画にどう魂を入れるかである。

是非お願いしたいことは、他の地域に類を見ないユニークな、時代をリードするようなリーディングな施策に取り組んでほしい。そのためには、既存の枠組みを超え、縦割りを廃止し、横で繋がるワーキングチームやプロジェクトチームを作り、起動させていただきたい。4月以降、計画に魂を入れることが重要である。

委員 私も審議が不十分・未消化であるという印象を持っている。計画の評価・検証にあたっては、是非外部の組織による検討委員会を設けてほしい。

- 委員 市民1人ひとりにとって大切な計画と認識している。市の計画案の審議を重ねてきたが、答申案にあるとおり、市を取り巻く諸問題が取り上げられている。問題の解決を一つひとつ取り組んで計画が順調に進むことを願っている。
- 委員 委員の皆さんの意見を基に、計画が出来上がったと思う。絵に描いた餅にならないように、第2次総合計画のようにならないように、市長の強いリーダーシップを持ってPDCAサイクルを回して行ってほしい。
- 委員 計画の中で、学校教育を大きく位置付けていただいた。それと同時に教育に対する要望や期待が大きいことも感じた。今後、子どもたちの人口が増えることを目指す中で、多様な子どもたちを受け入れていくことになると思う。学校運営の課題としてお金、人材確保・育成など、様々な課題が出てくると思うが、多くの人の理解と協力を得ながら検討を進め、計画を実現できるよう取り組んでいきたい。
- 委員 審議会、パブリックコメント等で、たくさんの方から意見をいただいた。色々な意見があり、中には厳しい意見もあった。意見を言わなかった方も見ていると思う。今後、行政の中で具体的な取組を行っていくと思うが、大きな花を咲かせてほしい。そして市民とともに議論してほしい。
- 委員 委員、事務局の皆様には敬意をはらいたい。計画の実現に向けて、皆様の取組に期待するとともに、自身も微力ながらまちづくりの一端を担えるように取り組んでいきたいと思う。
- 委員 地域に元々ある産業に目を向けて、地域を元気にしていく方針は、重要であると認識しており、今後の取組に期待している。
委員の皆様から貴重な意見を伺う事ができ、勉強になった。感謝申し上げます。
- 委員 本計画策定にあたって、10年後、どんな北杜市にしていきたいかを考えてきた。パブリックコメントや審議会などに寄せられた意見や提案も参考にしながら、計画の実現に取り組んでほしい。また、総合計画は最上位計画であるがゆえに、市民1人ひとりのものであってほしいし、親しまれる計画であってほしい。そして、市役所や市民や企業など様々な方々が共通の目標に向かって連携し、協力してよりよい地域の実現に取り組んでいただきたい。
- 議長 円滑な審議にご協力いただき感謝申し上げます。総合計画の審議時間は短いといえは短いかもしれないが、これからの実施において、住民参加を図り、常に更新し、前に進んでいく運用を心掛け、そこを含めて評価をしていければと思う。それによって、住民自治についても充実・強化されていくのではないかと

と思う。

総合計画を策定し、ホームページに公表して終わりではなく、職員の皆さんは、ここから擦り切れるほど本計画を読み込み、業務に活用し、市民の意見などに真摯に向き合いながら、地域のありたい姿の実現に取り組んでほしい。また、幹部職員にあたっては、それらを踏まえつつ、「成果」と「市民満足度の向上」が図られるよう、指揮・監督していただきたい。

コロナ禍で、書面開催などイレギュラーな部分もあったが、委員の皆さんには真摯にご議論をいただき、答申案をとりまとめることができた。心から感謝申し上げる。

最後に委員から質疑のあった評価・検証の体制について、事務局から説明をお願いしたい。

事務局

先ほどご質問があった評価・検証の体制としては、82ページにあるとおり、産官学金等からなる総合計画推進委員会という外部の機関を設置する。実行が重要であるため、施策の推進状況を把握し、評価し検証していく。担当課が所管する施策を推進していく中で、成果につなげていきたいと考えている。

4) その他

- ご意見等は、2月10日（木）までにメール等にていただきたい。

5) 閉会 [12:15]